

令和6年度 決算報告

9月の町議会定例会で、令和6年度の決算が認定されました。

今回は、令和6年度に実施した主な事業を、総合計画の**7つの基本目標**に基づきご紹介します。

また、斑鳩町の財政状況についてもご紹介します。

【問合せ】政策財政課(☎内線255)

1 安全・安心にらせるまちにします

- ◆ 消防団活動の強化をはかるため、第1分団消防ポンプ車を更新しました。
- ◆ 災害時に備え、災害用簡易トイレなどを新たに備蓄しました。
- ◆ 安全・安心にらせるまちづくりの拠点として、法隆寺南大門前に「動く交番」の開設場所を整備しました。
- ◆ 奈良県が作成した洪水浸水想定区域図をふまえ、防災ハザードマップを更新しました。
- ◆ 登下校時の子どもの安全確保のため、通学路などに防犯カメラを計画的に増設しました。
- ◆ 避難所としての機能強化をはかるため、中央公民館の非常用電源設備を改修しました。

2 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

- ◆ 防災機能強化や温室効果ガスの削減を目的として、避難所など公共施設の照明をLEDに更新しました。
- ◆ 高齢者のごみ出し支援を充実させるため、一部地域での戸別収集に向けた準備を進めました。
- ◆ 適正な道路機能を維持するため、道路の維持補修を計画的に実施しました。
- ◆ 西和医療センターの移転とあわせた一体的なまちづくりに向けた検討を行い、JR法隆寺駅南側地区まちづくり基本計画の作成を進めました。
- ◆ 来庁者の利便性向上のため、役場庁舎前駐車場の舗装を更新しました。

3 子どもの未来が輝くまちにします

- ◆ 食材費の物価高騰に対応し、給食の質の維持や保護者の負担軽減をはかるため、町立小・中学校の給食補助金を増額しました。
- ◆ 町内の私立保育所や認定こども園に対する運営費補助金を充実させ、保育士給与の処遇改善など保育環境向上の支援を行いました。
- ◆ 安心して子どもを預けられる保育環境を整えるため、町立保育所の保育室に「みまもりカメラ」を設置しました。
- ◆ より子育てしやすい町になるために、町長が子どもや子育て世代の意見を聴く「子育てタウンミーティング」を開催しました。
- ◆ 学校と保護者の連絡の効率化をはかるため、学校・保護者連絡アプリを導入しました。

4 誰もが健やかに生き生きとくらせるまちにします

- ◆ スポーツ施設や避難所としての環境を向上させるため、スポーツに影響の少ない空調設備を中央体育館に導入しました。
- ◆ 医療機関窓口での支払いを減らし、利便性を向上させるため、現物支給による子ども医療費の助成対象年齢を高校生まで拡大しました。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症予防接種の定期接種を開始しました。
- ◆ ヒトパピローマウイルス感染症ワクチンの接種の機会を逃した人も接種を受けられるよう、キャッチアップ接種を実施しました。
- ◆ 図書館をより利用しやすい環境に整えるため、新たなシステムを導入しました。

5 つながりをお大切にすまちにします

- ◆ ふれあい豊かな地域社会の育成をめざし、龍田西地区地域交流館を整備しました。
- ◆ 地域コミュニティ活動への支援を充実させるため、地域集会所施設整備費等補助制度を見直しました。

6 魅力に満ちた活力あるまちにします

- ◆ 防災重点ため池の現状を把握するため、町内のため池7か所で、耐震性調査や豪雨耐性調査を実施しました。
- ◆ 地域経済の発展と振興をはかるため、町内での創業支援や、債務保証に係る保証料補給を行いました。
- ◆ 地域の魅力向上や、持続可能な観光地域づくりを実現するため、法隆寺iセンターなどの施設運用方法を見直すための取り組みを実施しました。

7 悠久の歴史と文化、自然をお大切にすまちにします

- ◆ 令和7年度に藤ノ木古墳発掘調査40周年記念を迎えるにあたり、講演会や特別展などのプレイベントを行い、機運醸成をはかりました。
- ◆ 埋蔵文化財を適切に保存するため、いかるがパークウェイ建設にともなう発掘調査を行いました。



防災倉庫などを備え、新たに開館した龍田西地区地域交流館

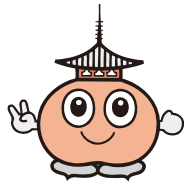


空調設備が整った中央体育館



最新の機能が備わった消防ポンプ車

令和
6年度



斑鳩町の財政状況

一般会計決算

4億6,328万円の黒字

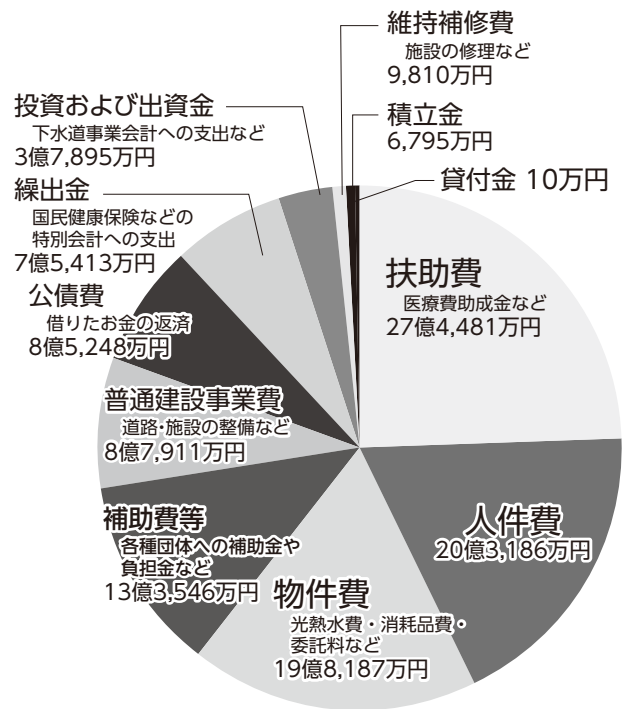
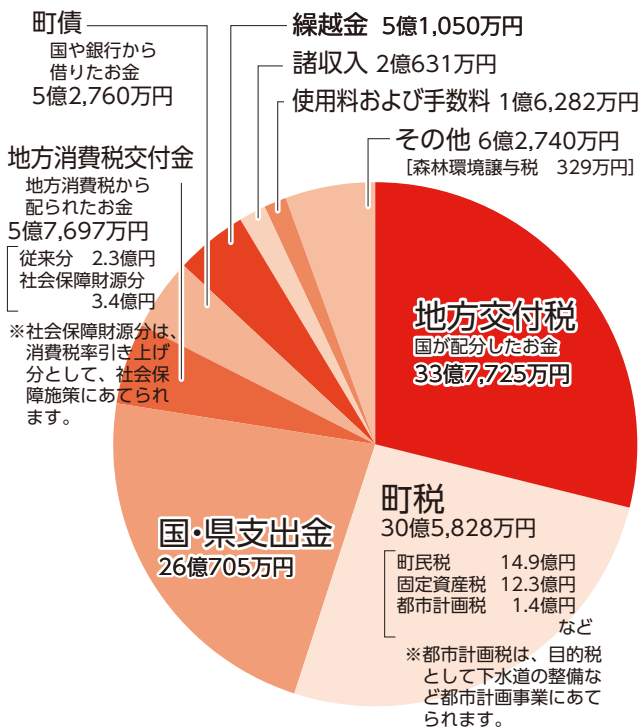
※「歳入」-「歳出」-「翌年度への繰越」

歳入 116億5,418万円

前年度比 2,978万円増 0.3%増

歳出 111億2,482万円

前年度比 1,092万円増 0.1%増



会計別決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
一般会計	116億5,418万円	111億2,482万円	5億2,936万円
国民健康保険事業特別会計	27億7,825万円	28億1,227万円	▲3,402万円
介護保険事業特別会計 (保険事業勘定)	28億4,264万円	27億7,901万円	6,364万円
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	1,664万円	1,339万円	326万円
後期高齢者医療特別会計	6億2,885万円	6億2,764万円	121万円
合計	179億2,056万円	173億5,711万円	5億6,344万円

※表中の金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計、差し引きとその内訳が一致しない場合があります。

健全化判断比率

いずれの指標も国の基準を下回り、**財政状況は健全!**

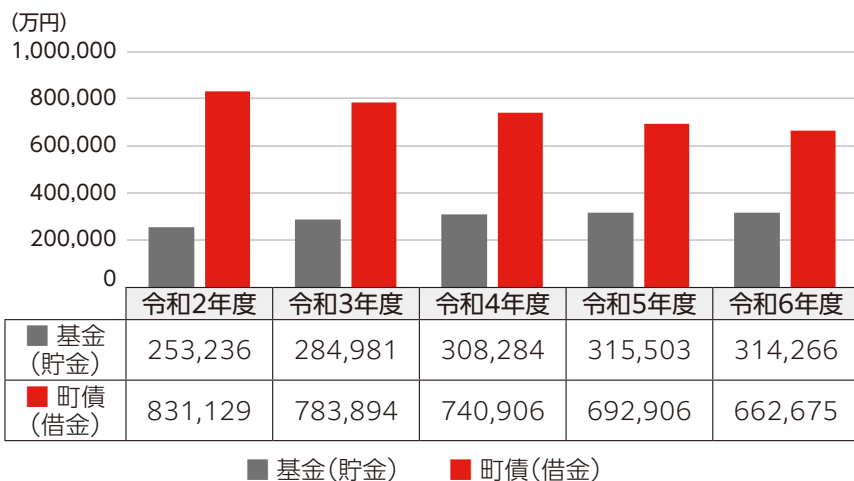
「早期健全化基準」以上となった場合には、財政健全化計画または財政再生計画を策定し、財政再建に取り組む必要があります。斑鳩町ではすべての指標において「早期健全化基準」を大きく下回っています。

今後財政の健全化に努めていきます。

指標		令和6年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	標準財政規模に対して、一般会計などの赤字が占める割合	赤字なし	14.10%	20%
連結実質赤字比率	標準財政規模に対して、すべての会計の赤字が占める割合		19.10%	30%
実質公債費比率	標準財政規模に対して、地方債(国や銀行などからの借入金)の1年間の返済額が占める割合	8.0% (前年度比▲0.1%)	25%	35%
将来負担比率	標準財政規模に対して、将来負担すべき負債の割合	4.8% (前年度比▲4.8%)	350%	

基金・町債の推移

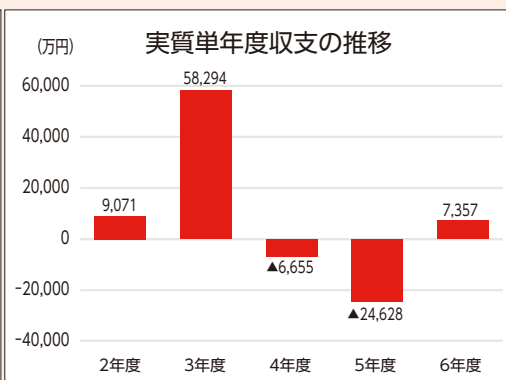
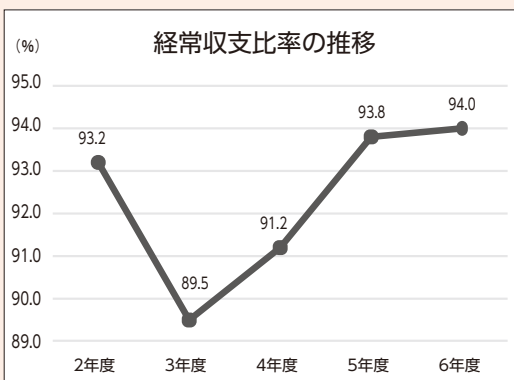
一般会計の財政指標



町債残高は年々大幅に減少しており、令和2年度と比較すると約16億8千万円、単年度平均で約4億2千万円の減少となっています。

また、財政運営の良し悪しを判断する指標として、実質単年度収支と経常収支比率があります。

実質単年度収支は、普通交付税収入が増加したことなどから、黒字となりました。



経常収支比率
財政状況の弾力性を示す指標。経常的な一般財源(町税や普通交付税など)に対して、固定的に支出される経費(人件費や扶助費、公債費など)に使われた一般財源が占める割合をあらわす。

実質単年度収支
その年の収入でその年の支出を賄うことができたかを示す指標。当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた「単年度収支」から、黒字要素である財政調整基金積立金や、赤字要素である積立金取崩額の影響を反映させた収支をあらわす。

経常収支比率は、普通交付税の収入が増加したものの、児童福祉や障害福祉などに係る扶助費や物価の上昇による各経費の増加などが影響し、0.2ポイント悪化しました。

今後も引き続き、各種事業の見直しによる経常的経費の縮減や歳入の確保を徹底し、持続可能な財政運営に努めていきます。



令和6年度 水道事業会計決算



令和6年度の決算額は、総収益が7億1,318万5,334円、総費用が11億1,011万9,751円、差し引き3億9,693万4,417円(前年度純損失1億2,709万281円)の当期純損失となりました。

■ 事業の概要

	令和6年度	令和5年度
総給水戸数	11,660戸	11,635戸
総給水量	2,955,489m ³	2,950,842m ³
総有収水量	2,787,290m ³	2,761,890m ³
有収率	94.3%	93.6%

県営水道の供給率は100%です。有収率は、給水量に対する料金収入となる水量の割合で、有収率が高いほどムダな水が少ないことになります。(令和5年度全国平均は89.4%)

■ 建設改良工事の概要

- 下水道工事等の他事業と連携し、配水管の整備を実施しました。(総延長1,576m)

《公共下水道事業との連携》

場所	延長
目安1丁目、龍田南5丁目、法隆寺北2丁目	851m

《老朽管更新工事》

場所	延長
大字幸前、幸前1・2丁目、阿波3丁目、神南1丁目	725m

配水設備改良費計	202,164千円
----------	-----------

■ 経理状況

イ. 損益計算書【令和6年4月1日～令和7年3月31日】 (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(1) 水道事業費用	1,110,119,751	(1) 水道事業収益	713,185,334
(1) 営業費用	665,112,838	(1) 営業収益	600,099,720
(2) 営業外費用	16,382,496	(2) 営業外収益	79,930,548
(3) 特別損失	428,624,417	(3) 特別利益	33,155,066
		(2) 当年度純損失	396,934,417
合計	1,110,119,751	合計	1,110,119,751

ロ. 貸借対照表【令和7年3月31日現在】 (単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
(1) 固定資産	4,900,608,053	(3) 固定負債	1,093,435,473
(1) 有形固定資産	4,900,257,553	(1) 企業債	1,093,435,473
(2) 無形固定資産	250,500		
(3) 投資	100,000	(4) 流動負債	373,784,202
		(1) 企業債	95,741,889
(2) 流動資産	611,068,343	(2) 未払金	255,691,749
(1) 現金及び預金	469,246,861	(3) 引当金	5,733,000
(2) 未収金	137,172,009	(4) その他	16,617,564
(3) 貯蔵品	4,649,473		
		(5) 繰延収益	2,253,152,631
		(1) 長期前受金	2,253,152,631
		(資本の部)	
		(6) 資本金	1,673,277,638
		(1) 自己資本金	1,673,277,638
		(7) 剰余金	118,026,452
		(1) 資本剰余金	116,481,293
		(2) 利益剰余金	1,545,159
合計	5,511,676,396	合計	5,511,676,396

※この令和6年度決算をもって、斑鳩町水道事業は奈良県広域水道企業団に移行いたしました。

■ 審査の結果
 審査に付された健全化判断比率・資金不足比率およびその基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成され、健全化を判断する比率については、問題ないものと認められた。

**令和6年度
健全化判断比率等審査**

■ 審査の結果
 令和6年度斑鳩町一般会計および各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書の各計数は、関係法令に準拠して調製され、誤りのないものと認められた。
 また、各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されているものと認められた。

**令和6年度
一般会計・各特別会計決算審査**



令和6年度 下水道事業会計決算



令和6年度の決算額は、総収益が7億1,629万8,261円、総費用が7億1,140万4,353円、差し引き489万3,908円(前年度純利益1,012万1,322円)の当期純利益となりました。

■ 事業の概要

	令和6年度	令和5年度
計画区域内人口	27,878人	28,033人
供用面積	280ha	273ha
処理区域内人口	20,368人	19,904人
普及率	73.1%	71.0%
年間汚水処理量	1,427,154m ³	1,367,939m ³

■ 建設改良工事の概要

・下水道管路整備工事

工事延長 1,569m
事業費 332,246千円

・奈良県流域下水道建設費負担金

負担額 11,736千円

■ 汚水処理量と接続件数の推移

年度	汚水処理量(m ³)	接続件数(件)
R元	1,203,763	4,302
R2	1,269,864	4,473
R3	1,303,804	4,662
R4	1,338,228	4,824
R5	1,367,939	5,057
R6	1,427,154	5,232

■ 経理状況

イ. 損益計算書【令和6年4月1日～令和7年3月31日】 (単位: 円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(1) 下水道事業費用	711,404,353	(1) 下水道事業収益	716,298,261
(1) 営業費用	602,132,127	(1) 営業収益	164,870,301
(2) 営業外費用	109,227,927	(2) 営業外収益	551,377,842
(3) 特別損失	44,299	(3) 特別利益	50,118
(2) 当年度純利益	4,893,908		
合計	716,298,261	合計	716,298,261

ロ. 貸借対照表【令和7年3月31日現在】 (単位: 円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
(1) 固定資産	18,385,308,447	(3) 固定負債	7,336,422,415
(1) 有形固定資産	17,138,291,348	(1) 企業債	7,336,422,415
(2) 無形固定資産	1,247,017,099		
(2) 流動資産	258,662,057	(4) 流動負債	639,752,416
(1) 現金及び預金	206,409,110	(1) 企業債	470,889,980
(2) 未収金	52,312,947	(2) 他会計借入金	0
(3) 貸倒引当金	△ 60,000	(3) 未払金	166,311,897
		(4) 預かり金	150,539
		(5) 引当金	2,400,000
		(5) 繰延収益	8,787,604,765
		(1) 長期前受金	8,787,604,765
		(資本の部)	
		(6) 資本金	1,838,503,933
		(1) 固有資本金	1,459,548,933
		(2) 出資金	378,955,000
		(7) 剰余金	41,686,975
		(1) 利益剰余金	41,686,975
合計	18,643,970,504	合計	18,643,970,504

一般会計・各特別会計決算
審査、健全化判断比率等審査、
水道事業会計決算審査および下
水道事業会計決算審査の詳細に
ついては、町ホームページまた
は役場2階情報公開総合窓口で
ご覧ください。
監査委員室(☎内線3005)

令和6年度斑鳩町下水道事業会計
決算書類は、関係法令に準拠して作
成され、当事業年度の経営成績およ
び当事業年度末の財政状態を適正に
表示しているものと認められた。

■ 審査の結果

令和6年度
下水道事業会計決算審査

令和6年度斑鳩町水道事業会計決
算書類は、関係法令に準拠して作成
され、当事業年度の経営成績および
当事業年度末の財政状態を適正に表
示しているものと認められた。

■ 審査の結果

令和6年度
水道事業会計決算審査

令和6年度 国民健康保険 特別会計決算 状況



問合せ
国保医療課
(☎内線114)

● 国保の財政状況

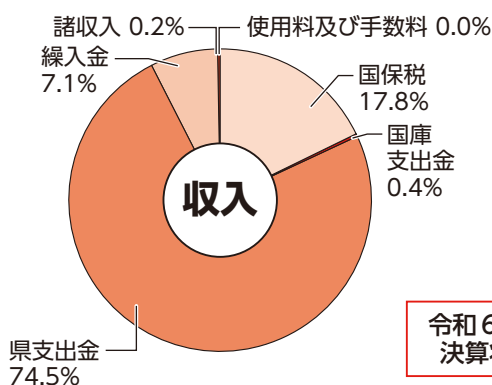
国保の財源は、被保険者(世帯主)が納付する国保税や県の交付金などから成り立っています。国保税は、収入全体の約17.8%を占めており、国保運営には欠かせないものです。

令和6年度決算では、前年度繰上充用金(累積赤字分)が歳出の約1.5%を占め、約3,402万円の赤字となりました。なお、単年度収支では、693万円の黒字となりましたが、引き続き累積赤字が大きく、厳しい財政状況が続いています。

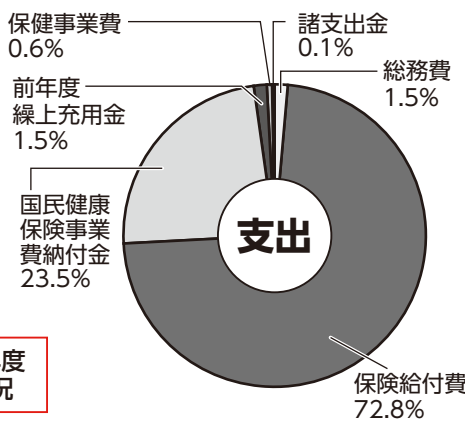
● 今後の国保財政

平成30年度から奈良県も保険者となり、県単位で国保を運営しています。医療費は全額県が負担し、その財源として県内市町村は県に納付金を納付しています。納付金は被保険者が納めた国民健康保険税でまかな

歳入 27億7,825万円



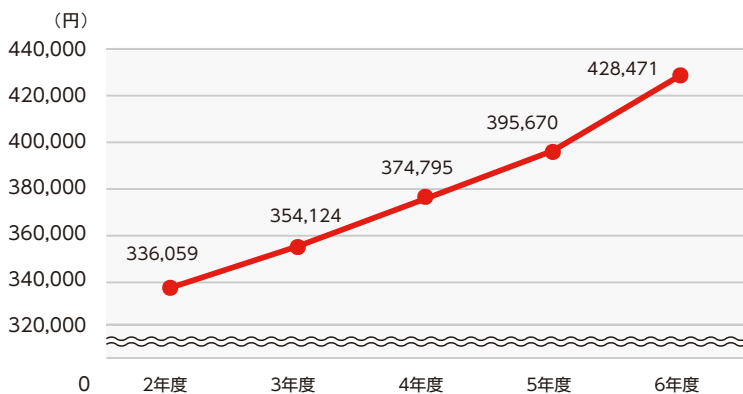
歳出 28億1,227万円



令和6年度
決算状況

われま。令和6年度からは、県内市町村で保険税率が統一されており、今後も適切な税率の設定や効率的な事業の実施などを行い、安定的な財政運営に努めていきます。

1人あたりの医療費の推移



● 医療費の状況

一人あたり医療費については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により減少しましたが、令和3年度以降は増加傾向にあり、被保険者の高齢化や医療の高度化などにより、今後も医療費は増加していくことが予想されます。

医療費の増加の抑制のために、被保険者一人ひとりが、健康管理や適切な医療受診など自分にできることから取り組みをお願いします。

医療費の負担を減らす取り組み

- ① 同じ病気で、複数の医療機関を受診する「重複受診」はやめましょう。
- ② 日ごろから相談できるかかりつけ医やかかりつけ薬局を持ちましょう。
- ③ ジェネリック医薬品を利用しましょう。
- ④ 生活習慣病の予防や早期発見のため、健康診査を受けましょう。

● 国保財政の健全化に向けた取り組み(収納体制の強化)

税負担の公平性を確保するため、特別な事情もなく保険税を滞納している滞納者には、財産の差し押さえなどの滞納処分を含め、厳正に対応しています。

一方、失業、多重債務などの事情により国保税を納付することが困難な人については、生活状況などを考慮して対応しています。相談を希望する人は、国保医療課へご連絡ください。